

Tamaki Kawakubo



川久保 賦紀が深い信頼を寄せるティム・パークと  
江口玲を共演者に迎え、  
初めてアストル・ピアソラの音楽に挑戦します。  
川久保 賦紀の新しい魅力と  
アストル・ピアソラの  
熱いアンサンブルにご期待ください。

©Syuji Tonoki



Tim Park



Akira Eguchi

# 賀 紀 プレイズ ピアソラ

川久保 賦紀 (ヴァイオリン)

ティム・パーク (チェロ) 江口 玲 (ピアノ)

アストル・ピアソラ作曲

ブエノスアイレスの四季、リベルタンゴ、オブリビオン(忘却)、ル・グラン・タンゴ ほか

2009年

5月13日 水 7時開演 千駄ヶ谷 津田ホール

全席指定 ￥5,000

2月20日発売 都民劇場 03(3572)4311

チケットぴあ 0570(02)9999 (Pコード 314-509) / イープラス <http://eplus.jp/>

情熱を極限まで浄化させたところで輝くピアソラの音楽がきける。

音楽評論家 黒田 恭一

ヤスリ

ひと頃は、時流に遅れてはならじと、猫も杓子もピアソラを演奏したがった。しかし、時間という鍼の試練をうけて、その場かぎりのピアソラ・フリークのメッキはいとも容易に剥げ落ちた。その後、ピアソラの音楽は真にピアソラの音楽を愛する人によって奏でられ始めた。そして、ようやく、激しくとも野卑にはならない、鋭くとも冷たくはならないピアソラの神髄を実感させてくれる演奏がきけるようになった。

川久保賜紀は、長いこと、静かに、彼女の胸のうちでピアソラの音楽との会話をかさねて、思いが充分に熟成するのを待った。そして、今、彼女はピアソラの音楽への愛が充分に熟したのを確認した後、彼女のピアソラに共感する理想的な共演者とともに、川久保賜紀独自のピアソラを披露しようとしている。ぼくたちは、川久保賜紀が真摯に音楽と向かいあい、持前の純度の高い音をいかして、ききての心に迫る演奏をきかせてくれるヴァイオリニストだということを、これまでのさまざまな演奏によって知っている。

そのような川久保賜紀の、彼女が心から愛するピアソラの音楽をひいた演奏であれば、かならずや、ピアソラが語ることを、さらに深いところで感じとることができるように違いない。このコンサートでぼくたちはきかせてもらうのは、まさに川久保賜紀が満を持してあきらかにするピアソラの音楽に深く踏み込んだところでなされる演奏である。

さる集まりで偶然会った川久保賜紀は、まるで愛する恋人のことを語るときのような、思いつめた表情で、「わたし、ピアソラが大好きなんです」といった。このような川久保賜紀の表情を目のあたりにして、彼女ならではのピアソラへの期待を募らせないではいられなかった。そして、彼女は、これまでに誰もきかせてくれなかつた、彼女だけのピアソラをきかせてくれるに違ないと確信した。



Tamaki Kawakubo

### 川久保 賜紀(ヴァイオリン)

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞(1位なしの2位)。同時に、ロシア作曲家協会による「現代音楽の優れた演奏に対する特別賞」受賞。

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2004年、出光音楽賞を受賞。

5歳の時にヴァイオリンを始める。R.リップセット、D.ディレイ、川崎雅夫、Z.プロンの各氏に師事。ロサンゼルス・フィル、デトロイト響、ヒューストン響、シンシナティ響、ボルティモア響、サンフランシスコ響、クリーヴランド管など主要な北米オーケストラと共に演奏し、若い時より豊富なステージ経験を積む。ラヴィニア音楽祭では芸術監督のエッシャンバッハと共に演奏し高い評価を得た。近年は、ファビオ・ルイジ指揮ライツィヒ放送響、サンクトペテルブルク響ほか、リトアニア、ドイツ、スウェーデンなど、ヨーロッパにも活躍の場を広げている。日本では97年、ジョン・ミヨフ指揮アジア・フィルのソリストとして初来日。同年、ニューヨークのモーストリー・モーツアルト・フェスティバル・オーケストラとのツアーで再来日し、その年の演奏活動に対して、リンカーンセンターより、エグリー・フィッシャー賞を受賞。日本の主要オーケストラと共に演奏を重ねる他、今年はモスクワ放響及びロシア・ナショナル管日本公演のソリストとして迎えられ、その深い音楽性に高い評価を得ている。



Tim Park

### ティム・パーク(チェロ)

生粋のニューヨーク育ちの韓国人ソリスト。ジュリアード音楽院、イェール大学でチェロを学び、ドイツのリューベック音楽院を経て、ベルリン音楽大学大学院を卒業。これまでにダヴィット・ゲリンガス、ロストロボーヴィチ等に師事。

モスクワ放送交響楽団、ベルリン交響楽団、ニューヨーク室内管弦楽団など、一流のオーケストラと数々の共演を果たす。また、アスペン音楽祭、ホルシュタイン音楽祭、カザルス・チェロ・フェスティヴァルなど、世界の音楽祭に参加。ヨーロッパ、アメリカ、アジアをまたにかけて活躍する注目のチェリスト。



Akira Eguchi

### 江口 玲(ピアノ)

「非凡なる芸術性、円熟、知性」(ニューヨーク・タイムズ紙)と評される江口玲は、ソリスト、室内楽奏者、チェンバロ奏者、そして伴奏者として世界中の聴衆と批評家たちを魅了してきた。東京に生まれ、東京芸大附属音楽高校を経て東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業、その後、ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。現在、欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍している他、ギル・シャハム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くのヴァイオリニスト達と共に演奏している。

現在ニューヨーク在住、ニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭をとっている。

主催／財団法人 都民劇場 03(3572)4311

<http://www.tomin-gekijo.or.jp/>

2月20日発売 都民劇場 03(3572)4311

チケットぴあ 0570(02)9999(Pコード 314-509)

イープラス <http://eplus.jp/>

#### ■交通のご案内

JR線／千駄ヶ谷駅下車向かい側

東京メトロ／都営大江戸線

国立競技場駅A4出口

新宿

JR千駄ヶ谷駅

東京

代々木

神宮外苑

津田塾大学

千駄ヶ谷

キャンパス

Jr千駄ヶ谷駅

津田ホール

大江戸線・國立競技場

A4出口

●大江戸線・國立競技場

A4出口

東京

体育館

青山